

## A) 学術論文(全文査読付)

1. 中村光, 田辺忠顕:RC構造物における構造不安定と靱性率との関係, コンクリート構造物の靱性とその評価法に関するコロキウム論文集, pp.153~162, 1988.3
2. 中村光, 田辺忠顕:繰り返し荷重を受けるRC構造物の終局変位に関する基礎的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第11巻第2号, pp.281~286, 1989.7
3. H.Nakamura and T.Tanabe:Fundamental Study on the Ultimate Deformation of RC Structures subjected to Cyclic Loadings, Transactions of the Japan Concrete Institute, Vol.11, pp.279~284, 1989.12
4. 中村光, 二羽淳一郎, 田辺忠顕:鉄筋コンクリート構造物の終局破壊点予測に関する解析的研究, コンクリート構造物の靱性と配筋方法に関するシンポジウム論文集, pp.181~188, 1990.5
5. 中村光, 二羽淳一郎, 田辺忠顕:RCラーメン構造物の終局変位に関する解析的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第12巻第2号, pp.731~736, 1990.6
6. 河南正幸, 中村光, 二羽淳一郎, 田辺忠顕:鉄筋コンクリート柱の終局耐荷力に関する基礎研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第12巻第2号, pp.807~812, 1990.6
7. 中村光, 二羽淳一郎, 田辺忠顕:鉄筋コンクリート柱の終局変位に関する解析的研究, 土木学会論文集, No.420/V-13, pp.115~124, 1990.8
8. H.Nakamura, J.Niwa and T.Tanabe:Analytical Study to Predict the Ultimate Failure Point of RC Structures, Transaction of the Japan Concrete Institute, Vol.12, pp.291~298, 1990.12
9. H.Nakamura, J.Niwa and T.Tanabe: Analytical Study on the Ultimate Deformation of RC Frame, Transaction of the Japan Concrete institute, Vol.12, pp.283~290, 1990.12
10. M.Kannan, H.Nakamura, J.Niwa and T.Tanabe:Fundamental Study on the Ultimate Behavior of Reinforced Concrete Columns, Transaction of the Japan Concrete Institute, Vol.12, pp.307~314, 1990.12
11. 中村光, 二羽淳一郎, 田辺忠顕:RCはりの終局挙動に関する解析的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第13巻第2号, pp.281~286, 1991.6
12. 河南正幸, 中村光, 田辺忠顕:柱・基礎接合部に関する解析的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第13巻第2号, pp.385~390, 1991.6
13. H.Nakamura, J.Niwa and T.Tanabe:Analytical Study on the Ultimate Deformation Capacity of RC columns, Concrete Library International, No.17, pp.63~76, 1991.6
14. M.Kannan, H.Nakamura and T.Tanabe:Analytical Study on the Ultimate Load Capacity of Reinforced Concrete Column-Footing Joint, Transaction of the Japan Concrete Institute, Vol.13, pp.411~416, 1991.12
15. H.Nakamura, J.Niwa and T.Tanabe:Analytical Study on the Ultimate Deformation Behavior of Reinforced Concrete Beam, Transaction of the Japan Concrete Institute, Vol.13, pp.417~424, 1991.12
16. 中村光, 二羽淳一郎, 田辺忠顕:解析的研究に基づくRC部材の塑性変形能定量化, 土木学会論文集, No.442/V-16, pp.127~135, 1992.2
17. 中村光, 二羽淳一郎, 田辺忠顕:鉄筋の座屈がRC構造のポストピーク挙動に及ぼす影響, コンクリート工学年次論文報告集, 第14巻第2号, pp.337~342, 1992.6
18. H.Nakamura, J.Niwa and T.Tanabe:Effect of Buckling of Longitudinal Reinforcement on the Post-Peak Behavior of RC structures, Transaction of the Japan Concrete Institute, Vol.14pp.433~440, 1992.12
19. H.Nakamura, J.Niwa and T.Tanabe: An Analytical Evaluation of the Ductility of Reinforced Concrete Members, Concrete Library International, No.21, pp.1~14, 1993.6
20. 中村光, 田辺忠顕:鉄筋コンクリートはりのポストピーク挙動に関する解析的研究, 土木学会論文集, No.490/V-23, pp.81~90, 1994.5

21. 中村光, 檜貝勇: 拡張した修正圧縮場理論によるRCはり断面のせん断耐荷力評価, 土木学会論文集, No.490/V-23, pp.157~166, 1994.5
22. 百瀬明貴, 檜貝勇, 中村光: RC連続梁のせん断力に対する実用的設計方法の検討, コンクリート工学年次論文報告集, 第16巻第2号, pp.575~580, 1994.6
23. 仲山元章, 檜貝勇, 中村光, 飯塚義夫: 貫通ひび割れを有する鉄筋コンクリート床版の押し抜きせん断耐力, コンクリート工学年次論文報告集, 第16巻第2号, pp.425~430, 1994.6
24. 河村幸典, 中村光, 檜貝勇: 鉄筋コンクリートはりの構造不安定と局所不安定に関する解析的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第16巻第2号, pp.353~358, 1994.6
25. 山中崇雅, 中村光, 檜貝勇: 軸力・曲げを受ける鉄筋コンクリート断面に対する断面力表示構成則の開発, コンクリート工学年次論文報告集, 第16巻第2号, pp.641~646, 1994.6
26. 中村光, 檜貝勇: 連続繊維で補強したコンクリートはりのせん断耐荷力の評価, 土木学会論文集, No.508/V-26, pp.89~100, 1995.2
27. 加藤宏康, 檜貝勇, 中村光: 軽い衝撃を受けるコンクリート部材の応答に関する解析的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第17巻第1号, pp.1181~1186, 1995.6
28. 平井圭, 中村光, 檜貝勇: コンクリートの圧縮破壊領域の推定に関する実験的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第17巻第2号, pp.339~344, 1995.6
29. 飯塚敬一, 中村光, 足立正信, 檜貝勇: RCボックスカルバート構造の終局変形挙動に関する解析的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第17巻第2号, pp.475~480, 1995.6
30. 中村光, 檜貝勇: せん断補強鉄筋を有するRCはり断面のせん断耐荷力評価に関する解析的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第17巻第2号, pp.785~790, 1995.6
31. 山谷敦, 檜貝勇, 足立正信, 中村光: 区間強度法による地震動を受けるボックスカルバートのせん断耐力評価, コンクリート工学年次論文報告集, 第17巻第2号, pp.875~890, 1995.6
32. 土橋文彦, 河村幸典, 中村光, 檜貝勇: 局所挙動を考慮したコンクリートはりの有限要素解析に関する基礎的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第17巻第2号, pp.1223~1228, 1995.6
33. H.Nakamura and T.Higai: Evaluation of Shear Strength of RC Beam Section based on Extended Compression Field Theory, Concrete Library International, No.25, pp.93~106, 1995.6
34. H.Nakamura and T.Higai: Evaluation of Shear Strength of Concrete Beams Reinforced with FRP, Concrete Library International, No.26, pp.111~123, 1995.12
35. 山谷敦, 中村光, 飯塚敬一, 檜貝勇: 回転ひび割れモデルによるRC梁のせん断挙動解析, コンクリート工学年次論文報告集, 第18巻第2号, pp.359~364, 1996.7
36. 橋本伸一, 中村光, 檜貝勇: 繰り返し荷重を受けるRC梁断面のせん断変形挙動に関する解析的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第18巻第2号, pp.641~646, 1996.7
37. 山谷敦, 中村光, 足立正信, 檜貝勇: 破壊エネルギーを考慮した有限要素解析における要素形状の検討, コンクリート工学年次論文報告集, 第19巻第2号, pp.57-62, 1997.6
38. 飯塚敬一, 中村光, 足立正信, 檜貝勇: 不連続回転ひび割れモデルによるRCはりの有限要素解析, コンクリート工学年次論文報告集, 第19巻第2号, pp.459-464, 1997.6
39. 丁則平, 檜貝勇, 中村光: 有限要素法によるRC部材のせん断破壊性状の検討, コンクリート工学年次論文報告集, 第19巻第2号, pp.723-728, 1997.6
40. 水野要, 中村光, 檜貝勇: 繰り返し荷重を受けせん断破壊するRC部材の挙動解析, コンクリート工学年次論文報告集, 第19巻第2号, pp.795-800, 1997.6
41. 立松博, 中村光, 檜貝勇: 柱基部におけるコンクリートの圧縮破壊領域に関する実験的研究, コンクリート工学年次論文報告集, 第19巻第2号, pp.897-902, 1997.6

42. 天野修, 中村光, 檜貝 勇, 田中浩一:鋼管・コンクリート複合構造物のせん断挙動解析, コンクリート工学年次論文報告集, 第 20 巻第 3 号, pp.823-828, 1998.7
43. 雨宮明人, 檜貝勇, 中村光:塑性域での繰返し载荷を受ける鉄筋の脆性破壊, コンクリート工学年次論文報告集, 第 20 巻第 3 号, pp.1027-1032, 1998.7
44. 山谷敦, 中村光, 檜貝勇:回転ひび割れモデルによるRC梁のせん断挙動解析, 土木学会論文集, No.620/V-43, 1999.5
45. 水野要, 中村光, 檜貝勇:RC部材の繰返し挙動に及ぼす各種要因の影響, コンクリート工学年次論文報告集, 第 21 巻第 3 号, pp.223-228, 1999.6
46. 山谷敦, 檜貝勇, 足立正信, 中村光:せん断補強筋を有するRC梁の有限要素解析, コンクリート工学年次論文報告集, 第 21 巻第 3 号, pp.415-420, 1999.6
47. 井上寛規, 檜貝勇, 中村光:RC部材におけるせん断補強鉄筋の効果, コンクリート工学年次論文報告集, 第 21 巻第 3 号, pp.463-468, 1999.6
48. 山谷敦, 檜貝勇, 中村光:軸方向圧縮力を受ける RC はりの有限要素解析, コンクリート工学年次論文集, 第 22 巻第 3 号, pp.631-636, 2000.6
49. 水野要, 中村光, 檜貝勇:兵庫県南部地震で被災した一壁式橋脚の被害分析, コンクリート工学年次論文集, 第 22 巻第 3 号, pp.1399-1404, 2000.6
50. H. Nakamura, T. Higai:Compressive Fracture Energy and Fracture Zone Length of Concrete, Modeling of Inelastic Behavior of RC Structures under Seismic Loads, ASCE, pp.471-487, 2001
51. 田上和也, 中村光, 斉藤成彦, 檜貝勇:繰返し荷重を受ける鉄筋の座屈モデルに関する研究, 構造工学論文集 Vol.47A, pp.725-734, 2001.3
52. 斉藤成彦, 札立重好, 中村光, 檜貝勇:繰返し载荷を受ける鉄筋コンクリート柱の RBSM 解析, 構造工学論文集 Vol.47A, pp.735-742, 2001.3
53. 八若幹彦, 檜貝勇, 中村光, 斉藤成彦:3D-FEM によるRCスラブの押し抜きせん断破壊性状の解析, 構造工学論文集 Vol.47A(2001年3月), pp.1399-1346
54. 斉藤成彦, 中村光, 檜貝勇:剛体ーバネモデルを用いた軸方向圧縮力を受けるRC梁のせん断破壊挙動の数値解析, コンクリート工学論文集, 第12巻第2号, 2001.5, pp.71-82
55. 菅満宣, 中村光, 檜貝勇, 斉藤成彦:RC はりの力学的挙動に及ぼす付着特性の影響, コンクリート工学年次論文集, 第 23 巻第 3 号, pp.295-300, 2001.6
56. 八若幹彦, 檜貝勇, 中村光, 斉藤成彦:FEM によるスラブの押し抜きせん断破壊性状の解析, コンクリート工学年次論文集, 第 23 巻第 3 号, pp.523-528, 2001.6
57. H.Nakamura and T.Higai:Modeling of Nonlinear Cyclic Behavior of Reinforcing Bars, Finite Element Analysis of Reinforced Concrete Structures, ACI-SP205,pp.273-292, 2001
58. 山谷敦, 中村光, 檜貝勇:軸方向圧縮力を受けるRC梁のせん断挙動に関する実験的研究, 土木学会論文集, No.697/V-54, pp.143-160, 2002.2
59. 斉藤成彦, 中村光, 檜貝勇:剛体ーバネモデルを用いたRCパネルのせん断二次破壊に関する解析的研究, 土木学会論文集, 2002年5月, No. 704/V-55, pp.219-234
60. 田上和也, 中村光, 檜貝勇, 斉藤成彦:座屈を考慮した鉄筋の繰返し履歴モデル, コンクリート工学年次論文報告集, 第24巻第2号, pp.223-228, 2002.6
61. 平野貴規, 中村光, 檜貝勇, 斉藤成彦:一軸圧縮応力を受けるコンクリートの破壊性状の推定, コンクリート工学年次論文報告集, 第 24 巻第 2 号, pp.145-150, 2002.6
62. 野城良祐, 石川靖晃, 中村光, 田辺忠顕:物質移動を考慮した RBSM によるひび割れ進展解析手法の開発, コンクリート工学年次論文集, 第 25 巻第 1 号, pp.467-472, 2003.6

63. 安田明人, 伊藤睦, 中村光, 田辺忠顕: 複合吊構造形式コンクリート橋の終局挙動に関する解析的研究, コンクリート工学年次論文集, 第 25 巻第 2 号, pp.85-90, 2003.6
64. 山本佳士, Nattakor.B, 中村光, 田辺忠顕: ファイバーモデルにおけるせん断中心移動解析とねじりモーメント発生メカニズムに関する研究, コンクリート工学年次論文集, 第 25 巻第 2 号, pp.1075-1080, 2003.6
65. 檜貝勇, 中村光: 塑性域から座屈域にわたる大変位の繰返しを受ける異形鉄筋の破壊条件に関する研究, 土木学会論文集, 2003, No.746/V-61, pp.241-249
66. 野城良祐, 中村光, Srisoros Worapong, 田辺忠顕: 塩分浸透による鋼材腐食を考慮した RBSM 解析, コンクリート工学年次論文集, 第 26 巻第 1 号, pp.897-902, 2004.6
67. 諏訪俊輔, 権庸吉, 中村光, 田辺忠顕: 積分型非局所損傷理論を適用したファイバーモデルによる RC 部材解析, コンクリート工学年次論文集, 第 26 巻第 2 号, pp.73-78, 2004.6
68. 権庸吉, 諏訪俊輔, 中村光, 田辺忠顕: 積分型非局所手法による圧縮応力を受けるコンクリートの特性長さの推定, コンクリート工学年次論文集, 第 26 巻第 2 号, pp.109-114, 2004.6
69. 前川宏一, 中村光, 佐藤靖彦, Kukrit TOONGOENTHONG: せん断補強筋の定着不良が RC はりのせん断耐力に及ぼす影響, コンクリート工学年次論文集, 第 26 巻第 2 号, pp.973-978, 2004.6
70. 上田尚史, 伊藤睦, 中村光, 田辺忠顕: せん断破壊を生じる RC はりおよび柱のエネルギー吸収と破壊プロセス, コンクリート工学年次論文集, 第 26 巻第 2 号, pp.1003-1008, 2004.6
71. 山本佳士, 中村光, 伊藤睦, 田辺忠顕: 曲げねじり相関を考慮したファイバーモデルによる RC 柱の3次元解析, コンクリート工学年次論文集, 第 26 巻第 2 号, pp.1009-1014, 2004.6
72. 安田明人, 伊藤睦, 中村光, 田辺忠顕: ハイブリッド PC 斜張橋の構造性能評価, コンクリート工学年次論文集, 第 26 巻第 2 号, pp.1417-1422, 2004.6
73. 伊藤睦, Kongkeo PHAMAVANH, 中村光, 田辺忠顕: 格子等価連続体化法による鉄筋コンクリート部材の有限要素解析, 土木学会論文集, No.767/V-64, pp.115-130, 2004.8
74. Kongkeo PHAMAVANH, 伊藤睦, 中村光, 田辺忠顕: RC 構造の繰返しおよび動的解析における格子等価連続体化法の適応性, 土木学会論文集, No.767/V-64, pp.161-176, 2004.8
75. 武藤信太郎, 中村光, 田辺忠顕, Srisoros Worapong, 李相勲: メゾスケール解析によるコンクリートと異形鉄筋の付着解析, 応用力学論文集 Vol.7, pp.767-774, 2004.9
76. 堀宗朗, 市村強, 中村光, 若井明彦, 海老沢健正, 山口直也: 都市内全建造物の地震応答シミュレーションに関する基礎的研究, 応用力学論文集 Vol.7, pp.917-928, 2004.9
77. 中村光, 安田明人, 田辺忠顕: 長大スパンを有するハイブリッド PC 斜張橋の構造性能評価, 第 13 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集, pp.17-22, 2004.10
78. 澤部純浩, 上田尚史, 中村光, 李相勲: 軸方向鉄筋の定着不良を生じたせん断破壊する RC はりの挙動解析, コンクリート建造物の補修・補強・アップグレード論文報告集, 第4巻, pp.409-416, 2004.10
79. 上田尚史, 中村光, 国枝稔, 李相勲: ポストピーク領域におけるコンクリート部材の破壊進展速度解析, コンクリート工学年次論文報告集, 第 27 巻第 2 号, pp.91-96, 2005.6
80. 諏訪俊輔, 権庸吉, 中村光, 国枝稔: 繰返し荷重を受けるRC部材への非局所構成則の適用, コンクリート工学年次論文集, 第 27 巻第 2 号, pp.109-114, 2005.6
81. 岸山雄多佳, W.Srisoros, 国枝稔, 中村光: 若材齢コンクリートにおけるひび割れ挙動に関する基礎的研究, コンクリート工学年次論文集, 第 27 巻第 2 号, pp.133-139, 2005.6
82. Kongkeo PHAMAVANH, 中村光, 国枝稔, 李相勲: 格子等価連続体モデルによる高強度 RC はりのせん断破壊解析, コンクリート工学年次論文集, 第 27 巻第 2 号, pp.715-720, 2005.6
83. 武藤信太郎, Srisoros Worapong, 中村光, 国枝稔: メゾスケール解析による異形鉄筋の付着挙動解析, コンクリート工学年次論文集, 第 27 巻第 2 号, pp.763-768, 2005.6

84. 河野直也, 中野友裕, 中村光, 田辺忠顕: Flexibility 法を用いた長大スパン RC アーチ橋の地震応答の評価, コンクリート工学年次論文集, 第 27 巻第 2 号, pp.907-912, 2005.6
85. W. Srisoros, Y. Ishikawa, H. Nakamura and M. Kunieda : Thermal cracking analysis of concrete wall structure using RBSM, Proc. of JCI, Vol.27Vol.1, pp.1159-1164, 2005.6.
86. 藤村俊之, 国枝稔, 中村光, 李相勲: 断面修復材の寸法安定性に関する解析的検討, コンクリート工学年次論文集, 第 27 巻第 1 号, pp.1597-1602, 2005.6
87. 国枝稔, 撫養啓祐, 中村光: 表面被覆材のひび割れ追従性評価のための動的ひび割れ幅変動の計測, コンクリート工学年次論文集, 第 27 巻第 1 号, pp.1573-1578, 2005.6
88. 李相勲, 中村光, 中沢正利, 石川雅美, 遠藤孝夫: 横波の波動伝播を考慮した半無限連続高架橋におけるエネルギー伝達境界の定式化, 鉄道力学論文集, 第9号, pp.55-60, 2005.7
89. 堀宗朗, 井上純哉, 市村強, 中村光, 若井明彦, 海老澤健正, 山口直也: 防災担当者の技術力向上のための耐震設計の共通化と地震応答の統合的可視化, 土木学会論文集, No. 794/ I -72, pp.171-188, 2005.7
90. 権庸吉, 上田尚史, 中村光, 国枝稔: 積分型非局所構成則の2次元 RC 部材への適用に関する基礎的研究, 応用力学論文集 Vol.8, pp.413-422, 2005.9
91. 川畑智亮, 中村光, 吉松慎哉, 桐川潔: 3次元複合材料を緩衝材に用いた橋梁の耐震補強, 第 14 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集, pp.423-428, 2005.11
92. 山本佳士, 中村光, 伊藤睦, 田辺忠顕: RC 部材のせん断中心移動によるねじりモーメントの発生とその影響度の検証, 土木学会論文集, No. 809/V-70, pp.87-103, 2006.2
93. H. Nakamura, W. Srisoros, R. Yashiro and M. Kunieda.: Time-Dependent Structural Analysis Considering Mass Transfer to Evaluate Deterioration Process of RC Structures, Journal of Advanced Concrete Technology, Japan Concrete Institute, Vol.4, No.1, pp.147-158, 2006
94. 上田尚史, 権庸吉, 中村光, 高木康宏, 国枝稔: 非線形有限要素解析による曲げ破壊する RC 部材の損傷指標の検討, 構造工学論文集, Vol.52A, pp.925-934, 2006.3
95. 澤部純浩, 上田尚史, 中村光, 国枝稔: せん断補強筋に定着不良が生じた RC はりのせん断破壊挙動解析, 土木学会論文集, Vol.62, No.2, pp.444-461, 2006.
96. 中村翔, 上田尚史, 河村精一, 中村光: 三次元的な構造を有した地中 RC 構造物の終局挙動評価, コンクリート工学年次論文集, 第 28 巻第 2 号, pp.49-54, 2006.6
97. 松井義雄, 権庸吉, 上田尚史, 中村光: せん断圧縮破壊するはりの局所ひずみ分布と積分型非局所構成則の適用, コンクリート工学年次論文集, 第 28 巻第 2 号, pp.775-780, 2006.6
98. 河野直也, 中野友裕, 中村光, 田辺忠顕: 長周期地震動に対する長大スパン RC アーチ橋の挙動に関する検討, コンクリート工学年次論文集, 第 28 巻第 2 号, pp.883-888, 2006.6
99. 小倉大季, 国枝稔, 上田尚史, 中村光: 断面修復補修における境界条件がひび割れ性状に与える影響, コンクリート工学年次論文集, 第 28 巻第 1 号, pp.1721-1726, 2006.6
100. 撫養啓祐, 国枝稔, 西田信吉, 中村光: RC 構造物のひび割れ幅同定のための実構造物載荷実験, コンクリート工学年次論文集, 第 28 巻第 1 号, pp.1763-1768, 2006.6
101. A. Kamel, M. Rabei, A.El-Attar, M. Kunieda, and H. Nakamura: Ambient Vibration Test of Aswan Cable Stayed Bridge, Journal of Applied Mechanics Vol.9, pp.85-93, 2006.8
102. H. Nakamura, W. Srisoros and M. Kunieda.: New structural analysis considering deterioration process induced by mass transfer, Int. Journal of restoration of buildings and monuments, Vol.12, No.4, pp.317-334, 2006
103. T. Higai, H. Nakamura and S. Saito : Fatigue failure criterion for deformed bars subjected to large deformation reversals, Finite element analysis of reinforced concrete structures, ACI-SP237, pp.37-54, 2006
104. H. Nakamura, Y. Yamamoto, A. Itoh and T. Tanabe : Analytical study of torsional moment induced by shifting of

- shear center of RC cross section, Finite element analysis of reinforced concrete structures, ACI-SP237, pp.177-188, 2006
105. 国枝 稔, W. Srisoros, 岸山 雄多佳, 中村 光, 石川 靖晃; 若材齢コンクリートの硬化過程および載荷履歴を考慮したひび割れ構成則に関する研究, 土木学会論文集E, Vol. 63, No. 1, pp.127-142, 2007 .
  106. W. Srisoros, H. Nakamura, M. Kunieda and Y. Ishikawa : Analysis of Crack Propagation due to Thermal Stress in Concrete Considering Solidified Constitutive Model, *Journal of Advanced Concrete Technology*, 5(1), pp.99-112, 2007
  107. 八若幹彦, 檜貝勇, 中村 光, 斉藤成彦: 押抜きせん断破壊するスラブ状RC構造物の非線形三次元有限要素法解析, 土木学会論文集E, Vol. 63, No. 1, pp.127-142, 2007 .
  108. 小倉大季, 国枝稔, 上田尚史, 中村光: マブスケール解析による短繊維補強セメント系複合材料の力学特性の評価, コンクリート工学年次論文集, 第 29 巻第 1 号, pp.309-314, 2007.7
  109. 国枝稔, Ahmed KAMAL, 中村光, Eugen BRUHWILER: 超高強度ひずみ硬化型セメント系材料の開発, コンクリート工学年次論文集, 第 29 巻第 1 号, pp.315-320, 2007.7
  110. 撫養啓祐, 国枝稔, Ahmed KAMAL, 中村光: 高靱性セメント系複合材料のひび割れ追従性の評価, コンクリート工学年次論文集, 第 29 巻第 1 号, pp.321-326, 2007.7
  111. Ahmed KAMAL, 国枝稔, 上田尚史, 中村光: 高靱性セメント複合材料を用いた低鉄筋はりの曲げ破壊性状, コンクリート工学年次論文集, 第 29 巻第 1 号, pp.327-332, 2007.7
  112. 長崎了, 中村光, 上田尚史, 国枝稔: 乾燥収縮ひび割れの進展挙動解析, コンクリート工学年次論文集, 第 29 巻第 1 号, pp.621-626, 2007.7
  113. 安藤嵩久, 中村光, 上田尚史, 国枝稔: 鉄筋座屈が RC 柱の地震応答に及ぼす影響評価解析, コンクリート工学年次論文集, 第 29 巻第 3 号, pp.835-860, 2007.7
  114. 上田尚史, 中村光, 国枝稔: アルカリ骨材反応による RC 部材の膨張予測解析, 土木学会論文集E, Vol.63, No. 4, pp.532-548, 2007 .
  115. 上田尚史, 中村光, 国枝稔: ASR 損傷した RC 部材の構造性能評価に関する解析的研究, コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集, 第 7 巻, pp.113-120, 2007.11
  116. 河合真樹, 上田尚史, 中村光, 国枝稔: 曲げ損傷した RC はりの断面修復後の力学挙動解析に関する基礎的研究, コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集, 第 7 巻, pp.121-128, 2007.11
  117. 水上卓也, 三橋博三, 下澤和幸, 中村光: 繊維補強セメント系複合材を用いた鉄筋腐食の劣化速度抑制に関する基礎的研究, セメント・コンクリート論文集, No.61, pp.289-295, 2008.
  118. 小澤国大, 国枝稔, 閑田徹志, 中村光: 超高強度マトリクスに埋め込まれた有機繊維の付着特性, コンクリート工学年次論文集, 第 30 巻第 1 号, pp.231-236, 2008.7
  119. 長崎了, 中村光, 上田尚史, 国枝稔: 乾燥収縮によるコンクリート構造物のひび割れ進展解析, コンクリート工学年次論文集, 第 30 巻第 1 号, pp.453-458, 2008.7
  120. 国枝稔, 長瀧宏弥, 上田尚史, 中村光: 表面被覆材のひび割れ追従性疲労試験に関する基礎的研究, コンクリート工学年次論文集, 第 30 巻第 2 号, pp.613-618, 2008.7
  121. Kongkeo PHAMAVANH, 中村光, 桜田道博, 西垣義彦: 超高強度モルタルを使用した RC・PC 梁のせん断破壊解析に関する研究, コンクリート工学年次論文集, 第 30 巻第 3 号, pp.61-66, 2008.7
  122. Ahmed KAMAL, 国枝稔, 上田尚史, 中村光: Assessment of strengthening effect on RC beams with UHP-SHCC, コンクリート工学年次論文集, 第 30 巻第 3 号, pp.1483-1488, 2008.7
  123. 河合真樹, 中村光, 上田尚史, 国枝稔: RC はりの曲げ圧縮損傷領域と断面修復後性能の評価, コンクリート工学年次論文集, 第 30 巻第 3 号, pp.1627-1632, 2008.7
  124. A. Kamal, M. Kunieda, N. Ueda and H. Nakamura: Evaluation of crack opening performance of a repair

- material with strain hardening behavior, *Cement and Concrete Composites*, 30(10), pp. 863-871, 2008
125. 河村圭亮, 中村光, 国枝稔, 上田尚史: 腐食ひび割れ進展解析における鉄筋腐食膨張圧のモデル化に関する研究, *コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集*, 第 8 巻, pp.285-292, 2008
  126. 山本佳人, 中村光, 黒田一郎, 古屋信明: 3次元剛体バネモデルによるコンクリート供試体の圧縮破壊解析, *土木学会論文集E*, Vol.64, No.4, pp.612-630, 2008 .
  127. 森本拓也, 国枝稔, 河村圭亮, 中村光: 超高強度ひずみ硬化型セメント系複合材料で表面被覆した RC はりの鉄筋腐食に対する補強効果, *コンクリート工学年次論文集*, Vol31, No.1, pp.373-378, 2009
  128. 中島浩亮, 中村光, 国枝稔, 山本佳士: 3次元 RBSM を用いたコンクリートの耐火性能評価手法の開発, *コンクリート工学年次論文集*, Vol.31, No.1, pp.937-942, 2009.
  129. 河村圭亮, 中村光, 国枝稔, 上田尚史: 鉄筋腐食に伴うコンクリートのひび割れ進展挙動評価に関する基礎的研究, *コンクリート工学年次論文集*, Vol31, No.1, pp.1075-1080, 2009
  130. 上田尚史, 中村光, 国枝稔: ASR を生じた PC はりの膨張挙動と損傷後の構造性能の評価, *コンクリート工学年次論文集*, Vol31, No.1, pp.1261-1266, 2009
  131. 遠山裕一, 国枝稔, 上田尚史, 中村光: セメントモルタルの流動解析への CIP 法の適用, *コンクリート工学年次論文集*, Vol31, No.1, pp.1423-1428, 2009
  132. 森本拓也, 国枝稔, 上田尚史, 中村光: 超高強度ひずみ硬化型セメント系複合材料の自己治癒特性, *コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集*, 第 9 巻, pp.245-252, 2009
  133. 志水康祐, 国枝稔, 中村光, 玉越隆史: 超高強度ひずみ硬化型モルタルの物質移動抵抗性の評価, *コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集*, 第 9 巻, pp.253-260, 2009
  134. M. Kunieda, M. Hussein, N. Ueda and H. Nakamura: Enhancement of Crack Distribution of UHP-SHCC under Axial Tension Using Steel Reinforcement, *Journal of Advanced Concrete Technology*, 8(1), pp.49-57, 2010.
  135. 国枝稔, 小澤国大, 小倉大季, 上田尚史, 中村光: 短繊維を離散化した 3次元メソスケール解析手法によるひずみ硬化型モルタルの引張破壊解析, *土木学会論文集E*, Vol. 66, No. 2, pp. 193-206, 2010
  136. 江口輝行, 国枝稔, 中村光, 長嶋宏弥: 超高強度ひずみ硬化型モルタルの引張疲労耐久性, *コンクリート工学年次論文集*, Vol32, No.1, pp.239-244, 2010
  137. 河村圭亮, Khoa Kim TRAN, 中村光, 国枝稔: 鉄筋腐食に伴うコンクリート表面および内部ひび割れ進展挙動, *コンクリート工学年次論文集*, Vol32, No.1, pp.1007-1012, 2010
  138. Khoa Kim TRAN, Hikaru NAKAMURA, Keisuke KAWAMURA, Minoru KUNIEDA: Quantitatively Evaluation of Crack Propagation due to Rebar Corrosion, *コンクリート工学年次論文集*, Vol32, No.1, pp.1043-1048, 2010
  139. Y. Hanifi GEDIK, Hikaru NAKAMURA, Yoshihito YAMAMOTO, Minoru KUNIEDA: 3D-RBSM Analysis of Deep Beam Failed in Shear, *コンクリート工学年次論文集*, Vol32, No.2, pp.697-702, 2010
  140. 山本佳人, 中村光, 黒田一郎, 古屋信明: 3次元 RBSM によるコンクリートの高速圧縮破壊解析, *コンクリート工学年次論文集*, Vol32, No.2, pp.721-726, 2010
  141. 玉野慶吾, 中村光, 上田尚史, 国枝稔: PRC はり部材の時間依存挙動に関する解析的評価, 第 19 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集, pp. 491-496, 2010
  142. 加藤勝秀, 中村光, 上田尚史, 国枝稔: CIP法によるPCグラウトの充填解析, 第19回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集, pp.503-508, 2010
  143. Choonghyun Kang, 国枝稔, 上田尚史, 中村光: コンクリートの曲げひび割れの自己治癒性状, *コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集*, 第 10 巻, pp.269-272, 2010
  144. 張永興, 中村光, 国枝稔, 上田尚史: ひずみ硬化型セメント系複合材料を用いて補強した RC はりの

- 挙動の解析的評価, コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集, 第 10 巻, pp.341-348, 2010
145. 梅田靖司、国枝稔、中村光、玉越隆史、森井直治：超高強度ひずみ硬化型セメント系複合材料で補強された RC 柱の補修効果, コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集, 第 10 巻, pp.349-356, 2010
146. 山本佳士、中村光、黒田一郎、古屋信明：3次元 RBSM による横拘束コンクリートの 1 軸圧縮破壊解析, 土木学会論文集 E, Vol. 66, No. 4, pp.433-451, 2010.
147. 上田 尚史, 中村 光, 国枝 稔, 前野 裕文, 森下 宣明, 浅井 洋; “コンクリート構造物における ASR 損傷と損傷後の構造性能の評価”, 土木学会論文集 E2, Vol. 67, No. 1, pp.28-47, 2011
148. Y.X. ZHANG, N. UEDA, Y. UMEDA, H. NAKAMURA and M. KUNIEDA: Evaluation of Shear Failure of Strain Hardening Cementitious Composite Beams, Journal of Structural Engineering Vol.57A, pp.908-915, 2011.
149. 江口輝行, 国枝稔, 長嶋宏弥, 中村光：アスファルト敷設時の熱の影響を受けた超高強度ひずみ硬化型モルタルの性能, コンクリート工学年次論文集, Vol.33, No.1, pp.281-287, 2011
150. 梅田靖司, 国枝稔, 上田尚史, 中村光：石灰石微粉末を添加した超高強度ひずみ硬化型モルタルの材料特性の評価, コンクリート工学年次論文集, Vol.33, No.1, pp.263-268, 2011
151. 玉野慶吾, 中村光, 上田尚史, 国枝稔：PRC はり部材のひび割れ幅経時変化の解析的評価手法に関する基礎的研究, コンクリート工学年次論文集, Vol.33, No.1, pp.521-526, 2011
152. 吉田敬司, 中村光, 国枝稔, 小澤満津雄：高温加熱環境下でのコンクリートの内部損傷および爆裂現象の評価手法の開発, コンクリート工学年次論文集, Vol.33, No.1, pp.1193-1198, 2011
153. Choonghyun KANG, Minoru KUNIEDA, Naoshi UEDA, Hikaru NAKAMURA : Autogenous healing properties of concrete under flexural loading, コンクリート工学年次論文集, Vol.33, No.1, pp.1421-1426, 2011
154. 河尻留奈, 国枝稔, 上田尚史, 中村光：ジオポリマーの基礎物性と構造利用に関する基礎的研究, コンクリート工学年次論文集, Vol.33, No.1, pp.1943-1948, 2011
155. 松岡由高, 中村光, 国枝稔, 河村精一：有限要素解析による主筋に丸鋼を用いた RC 部材の力学挙動評価, コンクリート工学年次論文集, Vol.33, No.2, pp.595-600, 2011
156. 田中寿志, 中村光, 国枝稔：疲労亀裂進展解析を用いた高強度鉄筋の疲労強度に関する研究, コンクリート工学年次論文集, Vol.33, No.2, pp.787-792, 2011
157. 玉野慶吾, 中村光, 国枝稔, 上田尚史: 高強度コンクリートを用いた PRC はり部材の時間依存挙動に関する解析的評価, プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集, 20, 191-196, 2011
158. Yasar Hanifi Gedik, Hikaru Nakamura, Yoshihito Yamamoto, Minoru Kunieda : Evaluation of three-dimensional effects in short deep beams using a rigid-body-spring-model, *Cement and Concrete Composites*, 33(9), 978-991, 2011
159. M. Kunieda, H. Ogura, N. Ueda and H. Nakamura: Tensile Fracture Process of Strain Hardening Cementitious Composites by Means of Three-dimensional Meso-scale Analysis, *Cement and Concrete Composites*, 33(9), 956-965, 2011
160. Tran Khoa Kim, Nakamura Hikaru, Kawamura Keisuke, Kunieda Minoru : Analysis of crack propagation due to rebar corrosion using RBSM, *Cement and Concrete Composites*, 33(9), 906-917, 2011
161. 国枝稔, 志水康祐, 江口輝行, 上田尚史, 中村光: 超高強度ひずみ硬化型モルタルの基礎物性と補修材料としての利用法, 土木学会論文集 E2, 67(4), 508-521, 2011



162. Yasar Hanifi Gedik, Hikaru Nakamura, Yoshihito Yamamoto, Naoshi Ueda and Minoru Kunieda : Effect of Stirrups on the Shear Failure Mechanism of Deep Beams、Advanced Concrete Technology、pp.14-30、January 21, 2012
163. Khoa K. TRAN, Hikaru NAKAMURA, Minoru KUNIEDA, Naoshi UEDA: Analysis of crack propagation behavior in concrete due to multi-rebar corrosion, Journal of applied mechanics, 58A, 844-853, 2012
164. 青山達彦、上田尚史、中村光、国枝 稔：電位拡散を考慮した腐食ひび割れ統合解析手法の構築に関する基礎的研究、コンクリート工学年次論文集、Vol.34, No.1, pp.1102-1107, 2012
165. 加藤勝秀、国枝稔、上田尚史、中村光：3次元個別要素法による短繊維補強材料の流動解析モデルの構築、コンクリート工学年次論文集、Vol.34, No.1, pp.1228-1233, 2012
166. Choonghyun KANG, Minoru KUNIEDA, Naoshi UEDA and Hikaru NAKAMURA : AUTOGENOUS HEALING PROPERTIES OF ULTRA HIGH PERFORMANCE STRAIN HARDENING CEMENTITIOUS COMPOSITES UNDER LOADING-RECURING CYCLES, Vol.34, No.1, pp.1432-1437, 2012
167. 杉本勝哉、国枝稔、上田尚史、中村 光：短繊維補強コンクリートのリサイクル性に関する基礎的検討、コンクリート工学年次論文集、Vol.34, No.1, pp.1600-1605, 2012
168. 玉野慶吾、中村光、上田尚史、国枝 稔：乾燥収縮によるRC 面部材のひび割れ進展挙動評価に関する解析的、コンクリート工学年次論文集、Vol.34, No.2, pp.97-102, 2012
169. 田中寿志、中村光、国枝稔：高強度鉄筋の疲労亀裂進展挙動、コンクリート工学年次論文集、Vol.34, No.2, pp.685-690, 2012
170. Mohamad Hussein, Minoru Kunieda, Hikaru Nakamura : Strength and ductility of RC beams strengthened with steel-reinforced strain hardening cementitious composites, *Cement and Concrete Composites*, 34(9), 1061-1066, 2012
171. 上田 尚史, 中村 光, 国枝 稔 “補強された部材のASR 膨張抑制効果の解析的評価”, *土木学会論文集 E2*, Vol.68, No.3, pp.195-208, 2012
172. 上田尚史, 張永興, 中村光, 国枝稔: 繰返し荷重を受ける RC 柱の損傷領域評価と補修効果に関する解析的検討, *応用力学論文集*, 15 卷 (頁: I\_663-I\_671), 2012 年
173. 上田尚史, 中村光, 国枝稔: 湿気状態の影響を考慮した PC 橋脚の ASR 膨張性状評価, 第 21 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム, pp.69-74, 2012 年
174. 加納崇壮, Choonghyun KANG, 国枝稔, 上田尚史, 中村光: AE 法による各種コンクリートの自己治癒効果の評価、*コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集*, 第 12 卷, pp.199-206, 2012
175. 河辺亮太, 国枝稔, 上田尚史, 中村光: AE 法による腐食鉄筋の付着挙動の評価に関する研究、*コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集*, 第 12 卷, pp.369-374, 2012
176. 小倉大季, 国枝稔, 中村光, 野島昭二, 吉武謙二: 短繊維を離散化したメゾスケール解析による繊維補強コンクリートの剥落挙動解析、*コンクリート構造物の補修・補強・アップグレード論文報告集*, 第 12 卷, pp.417-424, 2012
177. M. Kunieda, K. Choonghyun, N. Ueda and H. Nakamura : Recovery of Protective Performance of Cracked Ultra High Performance-Strain Hardening Cementitious Composites (UHP-SHCC) Due to Autogenous Healing、*Journal of Advanced Concrete Technology*、Vol.10、pp.313-322、2012.1
178. M. Hasan Meisami, Davood Mostofinejad, Hikaru Nakamura: Punching shear strengthening of two-way flat slabs using CFRP rods, *Composite Structures* 99, 112-122, 2013.
179. 河村精一, 白鳥洋平, 中村光, 上田尚史, 佐藤正俊, 横畑嘉人: 鉄筋比が比較的小さい地中RC構造

物の地震時損傷評価、構造工学論文集 Vol.59A、pp.828-839、2013 年 3 月

## B) 国際会議論文

1. T. Tanabe and H. Nakamura : Study on the Ultimate Deformation Capacity of RC Structures Subjected to Cyclic loadings, Second International Conference on Computer Aided and Design of Concrete Structures, pp.1177 ~ 1188, 1990.4
2. T. Tanabe, Wu and H. Nakamura : Mixed Mode Formulation for Membrane Displacement Analysis of RC plate and Shell Element, International Workshop on Concrete Shear in Earthquake, 1991.1
3. H. Nakamura and T. Tanabe : Analytical Study on the Ultimate Deformation of RC Frame, International Symposium on Concrete Engineering, pp.1433~1438, 1991.9
4. H. Nakamura and T. Tanabe : Analytical Study on the Ultimate Failure Behavior of Reinforced Concrete Beams, International Symposium on Concrete Engineering, pp.1517~1522, 1991.9
5. H. Nakamura, J. Niwa and T. Tanabe : An Analytical Evaluation of the Ductility of Reinforced Concrete Members, Tenth World Conference on Earthquake Engineering, pp.4343~4348, 1992.7
6. T. Higai and H. Nakamura : Shear Strength Estimation of Reinforced Concrete Members by the Zone Shear Strength Method, Fifth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction, pp.639 ~ 644, 1995.7
7. H. Nakamura and T. Higai : A Stress Resultant Constitutive Law for Concrete Rectangular Sections, Fifth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction, pp.2179~2184, 1995.7
8. H. Nakamura and T. Higai : Fracture Zone and Fracture Energy of Concrete under Uniaxial Compressive Stress, Urban Engineering in Asian Cities in the 21st Century, pp.105~110, 1996.11
9. T. Shimomura, T. Ueda, H. Nakamura and Y. Satoh : A Proposal of Design System for Strengthening of Existing Concrete Structures by Performance-Based Design, IABSE Colloquium Phuket 1999, pp.209~234, 1999
10. H. Nakamura and T. Higai : Compressive Fracture Energy and Fracture Zone Length of Concrete, Seminar on Post Peak Behavior of RC Structures subjected to Seismic Loads, Japan, pp.259-27, 2000
11. H. Nakamura, S. Saito and T. Higai: Evaluation of 3-D Effects on RC Structures under Seismic Loads, Proceedings of the 2002 Structures Congress, USA, pp.83-84, 2002
12. H. Nakamura, Y. Yamamoto, A. Itoh and T. Tanabe: Occurrence and Effects of Torsional Moment by Moving of Shear Center of RC Cross Section, US-Japan-Europe Workshop on FEARCS, Simulation of Collapse of Concrete Structures: from Research to Practice, USA, 2003
13. T. Higai, H. Nakamura and S. Saito: Fatigue failure criterion of deformed bars subjected to large deformation in plastic region and buckling region, US-Japan-Europe Workshop on FEARCS, Simulation of Collapse of Concrete Structures: from Research to Practice, USA, 2003
14. H. Nakamura, N. Tamehiro, T. Tanabe and J. Niwa: Study on stability criterion of super-long concrete arch, Arch Bridge IV, Advances in assessment, structural design and construction, pp.292-301, Spain, 2004
15. K. Kamisakota, H. Nakamura and A. Nakamura: Studies on long-span concrete arch bridges for construction at Ikarajima in Japan, Arch Bridge IV, Advances in assessment, structural design and construction, pp.548-557, Spain, 2004
16. H. Nakamura: JSCE specification for seismic performance verification and damage of concrete structures due to recent earthquakes, Proc. of JSCE-CICHE joint seminar on concrete engineering in Mongolia, pp.69-84, Ulanbator, 2005

17. W. Srisoros, M. Kunieda, and H. Nakamura, H. "Modeling of Tension Behavior of Early Age Concrete based on Solidification Concept." Proceeding of the seventh international summer symposium (JSCE), July 30, 2005, Tokyo, Japan, pp. 267-270.
18. H. Nakamura, W. Srisoros, M. Kunieda, and T. Tanabe: Time Dependent Structural Analysis Considering Mass Transfer, The Seventh International Conference on creep, shrinkage and durability of concrete and concrete structure (CONCREEP7), September 12-14, 2005, Nantes, France, pp. 151-162.
19. Y. Ishikawa, M. Kunieda, W. Srisoros and H. Nakamura: Modeling of Uni-axial Constitutive Law in Early Age Concrete Based on Solidification Concept, Creep, Shrinkage and Durability of Concrete and Concrete Structures(CONCREEP7), September 12-14, 2005, Nantes, France, pp.393-398.
20. H. Nakamura et al.: New Structural Analysis Considering Deteriorating Process induced by Mass Transfer, Durability of Reinforced Concrete under Combined Mechanical and Climatic Loads, Proc. of International Workshop on Durability of Reinforced Concrete under Combined Mechanical and Climatic Loads (CMCL), pp.213-221, 2005
21. A. Kamel, M. Kunieda, N. Ueda, H. Nakamura, M. Iwanami and T. Kanda : Flexural failure behavior of ECC beams with low reinforcement ratio, " Proceeding of the eighth international summer symposium (JSCE) (Nagoya), pp. 287-291, 2006
22. W. Srisoros, H. Nakamura and M. Kunieda : Evaluation of thermal crack propagation in concrete wall structure using RBSM with solidification concept, " Proceeding of the eighth international summer symposium (JSCE) (Nagoya), pp. 295-298, 2006
23. Y. Kwon, N. Ueda, H. Nakamura and M. Kunieda : Analysis of RC wall structure using integral type nonlocal constitutive law, " Proceeding of the eighth international summer symposium (JSCE) (Nagoya), pp. 299-302, 2006
24. W. Srisoros, H. Nakamura and M. Kunieda: Thermal crack propagation analysis of concrete wall structure using RBSM with solidification concept, 10th East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (Bangkok), Vol.4(Real Structures :Bridges and Tall Buildings), pp.517-522, 2006.8
25. N. Ueda, S. Sawabe, H. Nakamura and M. Kunieda: The damage evaluation analysis of RC structures due to AAR expansion, 10th East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (Bangkok), Vol.6(Materials, Experimentation, Maintenance and Rehabilitation), pp.255-266, 2006.8
26. H. Nakamura, Y. Kwon, N. Ueda and Y. Matsui "Nonlinear Finite Element Analysis of RC Structures using Integral Type Nonlocal Constitutive Law - Strain Localization Problem and Its Solution, 1<sup>st</sup> MUST-KUT Conference on 'Construction Management and Technology Innovation for Mongolian Infrastructure Development', pp.55-72, Ulaanbaatar, 2006.10
27. M. Kunieda, E. Danarie, E. Bruhwiler and H. Nakamura "Challenges for strain hardening Cementitious composites - deformability versus matrix density, Proc. of fifth international RILEM workshop on HPRCC, pp.31-38, 2007
28. A. Kamal, M. Kunieda, N. Ueda and H. Nakamura "Development of a zero-span tensile test for HPRCC used for structural repairing", 6th Fracture mechanics of concrete and concrete structures, pp.1509-1515, Catania, ITALY, 2007.7
29. M. Kunieda, W. Srisoros, N. Ueda, H. Nakamura and Y. Ishikawa "Assessment of a tensile constitutive model considering various loading histories for early age concrete", 6th Fracture mechanics of concrete and concrete structures, pp.299-307, Catania, ITALY, 2007.7
30. H. Nakamura: "Nonlinear analysis to evaluate damage of RC structures due to earthquake", KSCE-JSCE

- Concrete committee joint seminar, pp.53-75, Daegu, Korea, 2007.10
31. H. Nakamura: "Time-Dependent Structural Analysis for Life Simulation of Concrete Structures", Nordic Concrete Research, pp.142-143, Balsta, Sweden., 2008.6
  32. M. Kunieda, N. Okude, T. Shiotani and H. Nakamura: Flexural Failure Behavior of RC Beams with Rebar Corrosion and Damage Evaluation by Acoustic Emission, Progress in Acoustic Emission XIV, pp.325-332, 2008
  33. A. Kamal, M. Kunieda, N. Ueda, and H. Nakamura: Evaluation of Crack Elongation Performance of UHP-SHCC as a Surface Repair Material, Creep, Shrinkage and Durability Mechanics of Concrete and Concrete Structures, Proc. of CONCREEP8, pp.519-525, 2008.
  34. M. Kunieda, K. Kozawa, N. Ueda and H. Nakamura: Three-dimensional Meso-scale Analysis for Strain Hardening Cementitious Composites, Creep, Shrinkage and Durability Mechanics of Concrete and Concrete Structures, Proc. of CONCREEP8, pp.745-751, 2008.
  35. K. Nakashima, H. Nakamura, M. Kunieda and Y. Yamamoto: Fundamental Analysis on Evaluation for Fire-proof Performance of Concrete, Creep, Shrinkage and Durability Mechanics of Concrete and Concrete Structures, Proc. of CONCREEP8, pp.1029-1035, 2008.
  36. N. Ueda, H. Nakamura and M. Kunieda: Analytical Evaluation of the Effects of AAR on Structural Performance of RC Beams and Slabs, Creep, Shrinkage and Durability Mechanics of Concrete and Concrete Structures, Proc. of CONCREEP8, pp.1163-1169, 2008.concreep
  37. H. Asai, H. Maeno, N. Morishita and H. Nakamura : Study on Creep of PC Beam Damaged by ASR, Creep, Shrinkage and Durability Mechanics of Concrete and Concrete Structures, Proc. of CONCREEP8, pp.1147-1154, 2008.concreep
  38. H. Nakamura, M. Kunieda, K. Nakashima, N. Ueda and Y. Yamamoto: Development of Fire Explosion Simulation Method Based on Rigid Body Spring Method, 1st International workshop on Concrete Spalling due to Fire Exposure, pp.499-509, 2009.
  39. H. Nakamura, Advancement of technology to improve seismic performance of concrete bridge after Kobe earthquake, TCG-JSCE Joint Seminar, New developments in Technology and Standards for Reinforced Concrete in Europe and Japan, Atene, Greece, 2009.
  40. H. Nakamura and M. Kunieda :Crack Propagation Simulation during Life Cycle of Concrete Structures, Long-term behavior of concrete: Design and validation, Telford Advanced Research Workshop, Glasgow, UK, 2009, 招待講演
  41. M. Kunieda, N. Ueda and H. Nakamura: Ultra High Performance Strain Hardening Cementitious Composite (UHP-SHCC) for Repair Applications, Proc. of 4th International Conference on Construction Materials: Performance, Innovations and Structural Implications(ConMat '09), pp.313-318, 2009, Nagoya, Japan.
  42. T. Morimoto, Kunieda, N. Ueda and H. Nakamura: Self-Healing Properties of Ultra High Performance Strain Hardening Cementitious Composite (UHP-SHCC), Proc. of 4th International Conference on Construction Materials: Performance, Innovations and Structural Implications(ConMat '09), pp.319-326, 2009, Nagoya, Japan.
  43. Y. H. GEDIK, H. Nakamura, M. Kunieda, Y. Yamamoto : Analyses of pre- and post-peak behavior of deep beams failed in shear using 3D-RBSM, Proc. of the 7<sup>th</sup> International Conference on Fracture Mechanics of Concrete and Concrete Structures (FraMCos-7), pp.493-500, 2010.5, Jeju, Korea
  44. M. Kunieda, K. Kozawa, N. Ueda, H. Nakamura : Fracture analysis of strain hardening cementitious composites by means of discrete modeling of short fibers, Proc. of the 7<sup>th</sup> International Conference on Fracture Mechanics of Concrete and Concrete Structures (FraMCos-7), pp.501-508, 2010.5, Jeju, Korea

45. H. Nakamura, K.K. tran, K. Kawamura, M. Kunieda :Crack propagation analysis due to rebar corrosion, Proc. of the 7<sup>th</sup> International Conference on Fracture Mechanics of Concrete and Concrete Structures (FraMCos-7), pp.921-928, 2010.5, Jeju, Korea
46. M. Kunieda, M. Hussein, N. Ueda, H. Nakamura : Fracture behavior of steel reinforced UHP-SHCC under axial tension, Proc. of the 7<sup>th</sup> International Conference on Fracture Mechanics of Concrete and Concrete Structures (FraMCos-7), pp.1557-1564, 2010.5, Jeju, Korea
47. H. Nakamura, Y. Yamamoto, Y. H. GEDIK : Advancement of Seismic Performance Evaluation Methods of Concrete Structures after KOBE Earthquake, TCCE - JSCE/TR Section – JSCE Joint Symposium on Concrete Engineering, pp.71-96, 2010.6, Istanbul, Turkey
48. H. Nakamura : Analysis on Cracking Propagation during Life of Concrete Structures Using RBSM, 2<sup>nd</sup> International conference on Sustainable Construction Materials and Technologies, pp.289-300, 2010.6, Ancona, Italy
49. Gedik, Y.H., Nakamura, H., Ueda N. and Kunieda, M.(2010): A New Stirrup Design Considering 3-D Effects in Short Deep Beams, Proceedings of the Twelfth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (EASEC-12).
50. Y.X. Zhang, N. Ueda, Y. Umeda, H. Nakamura and M. Kunieda(2010) : Evaluation of Shear Failure of Strain Hardening Cementitious Composite Beams, Proceedings of the Twelfth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (EASEC-12).
51. K.K. Tran, H. Nakamura, M. Kunieda and N. Ueda(2010): Three Dimensional Behavior of Concrete Cracking due to Rebar Corrosion, Proceedings of the Twelfth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (EASEC-12).
52. M. Kunieda, K. Kozawa, N. Ueda and H. Nakamura(2010): Fracture Mechanism of Strain Hardening Cementitious Composites through Three-dimensional Meso Scale Analysis, Fracture and Damage of Advanced Fiber-reinforced Cement-based Materials, Aedificatio Publishers, pp.165-173.
53. H. Nakamura, Yamamoto, N. Ueda and M.Kunieda: Crack Propagation Analysis Using Rigid Body Spring Method with Voronoi Diagram, 2nd Workshop on Control of cracking in R.C. structures, June 20-22, 2011, Paris – France
54. Hikaru NAKAMURA : Preventive and repair methods for RC structure to resist Earthquake, Joint Seminar on Damage of Concrete Structure due to Recent Big Earthquakes in Japan and Seismic Design based on JSCE Standard Specification, 8 Aug. 2011, BangKoK , Thailand
55. H. Nakamura, K. Yoshida, M. Kunieda, N. Ueda, Y. Yamamoto, Ozawa: Simulation about Effect on explosion spalling of Thermal stress and vapor pressure, 2nd International Workshop on Concrete Spalling due to Fire Exposure, 5-7 October 2011, Delft, Netherland
56. Hikaru NAKAMURA, Hiroki FURUHASHI, Naoshi UEDA and Minoru KUNIEDA: Damage Evaluation Analysis of Concrete Members, The International Workshop on Advances in Seismic Experiments and Computations (ASEC2012), 12-13 March 2012, Meijo Univ.
57. H. Nakamura, T.K. Khoa, N. Ueda, M. Kunieda: Cracking propagation simulation of concrete due to multi rebar Corrosion, “Numerical Modeling Strategies for Sustainable Concrete Structures, 27 May – 1 June, 2012, Aix-en-Provence, France